

3 学年通信



Lucky days



R4.6.7(火)

体育祭特別号

「好奇心を持って周りを見渡せば普通の日など 1 日もない。毎日が幸運に満ちた特別な日になるのだ」という思いを込めて

頑張りました。よい思い出ができました。😊



『必ずできる!』

できるものはできる、できないものはできない。それはあたり前といえば、あたり前のことかもしれない。しかし、われわれは、できるものまでできなくしていることが、あまりにも多いのではあるまいか。

今日、技術の進歩は目覚ましく、さまざまなことが可能になった。テレビに世界の国々の出来事がリアルタイムに映り、火星の映像が地球に送られてくるなど、100年前には誰が想像していたであろう。もちろんそのことを予言していた人はいたかもしれない。けれど、なしとげたのは、想像し予言するだけでなく、「できる」と固く信じ、「なんとしても実現させたい」と情熱を傾け、懸命に努力を重ねた人達である。

「できない」と思ったとたんに事は成らなくなる。「こうなるだろう」「こうしたい」と思っているだけでも決して事は成らない。物事を成し遂げさせるには「必ずできる」という信念と、「なんとしても」という情熱の持続である。

物事を始めるとき、物事に行き詰まったとき、みずからにその信念と情熱があるかをかえりみたい。

いろいろな勝利を刻もう



部活動に取り組んでいる人は多いと思います。3年生にとって最後の大会もあと1か月ほどに迫ってきました。最後の大会で自分の満足できる結果ばかりではなく、期待していたほどの結果が得られないかもしれません。でもそれがすべてではないのです。今までの3年間の部活動生活で学んだことすべてが、あなたの財産になっているのです。だからこそ、最後の大会はまず、自分の力を100%だしきることだけを考えてください。

元池田高校野球部の篤監督の言葉を贈ります。「負けることが恥ずかしいことではない。負けてだめな人間になることが恥ずかしいのである。」

「いじめ」に立ち向かうアピール

いじめをしている人へ・・・

笑顔の仮面に隠された涙を感じてください。いじめはゲームじゃない。人の心はおもちゃじゃない。

あいつはうとうしいから・・・むかつくから・・・ そんなこと、いじめる理由にならないことに気づいてほしい。

いじめからは何も生まれないことに気づいてほしい。忘れてしまっていないませんか？あなたは、本当は優しい人。

いじめられている人へ・・・

あなたの心を打ち明けてください。勇気を出して・・・あなたは決してひとりじゃない。

まちがっても、命を捨てることはしないでください。そんなの勇気じゃない。

世界に一つのかげがえのない命、生き抜くことこそ勇気なんだ。オレらがいるやん。あなたは、とても大切な存在。

そして、すべての人へ・・・

見て見ぬふりをしている人はいませんか？それは自分を守るため？

「いじめは仕方ない」なんて思ってる人はいないはず。ひとことで、救える心がある。命がある。

互いの思いを語り合おう。それが本当の優しさ、そして勇気。本当の耳は、心にある。

人と人との関わりの中に温かさがある。その手を広げて、手と手をつなごう。

そして、もう一度創っていこう仲間という温かい輪を。

思いを伝え、ちがいを認め、互いに支え合う仲間づくりをしていこう。



「いじめ」からは何も生まれない！ ～するな！！ させるな！！ みのがすな！！～

学校でみつけたすてきな心

先日、給食の終了時間に、風で落ちてしまった友達のストローのごみを、当り前に拾って捨てている生徒の姿を見ました。それに気づいたごみの落とし主は、「ありがとう」としげんに拾ってくれた生徒に感謝の気持ちを言葉で伝えていました。また、給食を食べ終わった後、静かに手をあわせて、「ご馳走様」と感謝の心を表している生徒を見ました。

晃陽中学校には、多くの心優しい行動がとれる生徒や感謝の気持ちを表せる生徒がいて、とてもうれしいです。ありがとう。その優しさや感謝の心の輪をこれからも広げていってください。